

第2回 第4次佐賀市文化振興基本計画策定委員会 議事録

開催日	令和7年5月15日（木）	
開催時間	10時00分～12時	
開催場所	佐賀市役所大財別館4-3会議室	
出席者	委員	多良委員、七田委員、山田雅子委員、諸井委員、 福島委員、山田健一郎委員、木塚委員、梅崎委員
	事務局	地域振興部：大坪部長、小林副部長、 文化財課：久野主査 歴史・文化課：池田課長、道田副課長、 小副川主査、常富主事
議事	・議事 1) 第4次計画『第2章「佐賀市の現状と課題」』と佐賀市の文化に関するアンケート結果の概要報告について 2) 第4次計画の基本理念について 3) 第4次計画『第1章「基本理念と目標、計画の概要」』について 4) 座談会の開催について	
欠席委員	西原委員	
傍聴者	なし	
報道関係者	なし	

【会議の公開・非公開】

○委員長

佐賀市では審議会や委員会等は、個人や団体の不利益になる場合や、会議の運営に支障が出る場合を除き、原則公開としている。公開と決定されれば会議の傍聴を認め、会議録の要約を市のホームページで公開させていただく。異議がなければ、原則どおり公開とさせていただきたいが、よろしいか。

○委員（承認）

【議事1】

第4次計画『第2章「佐賀市の現状と課題」』と佐賀市の文化に関するアンケート結果の概要報告について

○事務局から説明

○委員

p.29「課題のまとめ」について詳しく説明してほしい。第3次計画の「課題のまとめ」との違いは何か。

○事務局

引き続き、「人づくり」「しくみづくり」「地域づくり」「まちづくり」の観点から整

理するが、時代の潮流等に合わせまとめ方を変更している。

・人づくり：アウトリーチ・インリーチを強調した。また、文化の創造や、文化・芸術を支えていく人を育成していくという視点を盛り込んだ。

・しくみづくり：第3次計画と大きな変更はないが、文化連盟の加盟団体の前向きな取り組みにも言及し、文化・芸術活動への支援を推進する。というまとめ方をした。

・地域づくり：歴史遺産の保存と価値の中で、三重津海軍所跡が世界遺産登録10周年を迎えたことを強調した。また、持続可能な管理体制の構築という視点からNPOや民間団体との協働についても言及している。

・まちづくり：文化資源の発掘という観点から整理をしている。

○委員

「地域づくり」と「まちづくり」は2つに分ける必要はあるのか。

○事務局

ご指摘のとおり、「地域づくり」と「まちづくり」は重複するところも多々あるが第3次計画を踏襲し分けて掲載している。今後の議論で再整理し、項目をまとめることも検討する。

## 【議事2】

第4次計画の基本理念について

○事務局から説明

○委員

具体的な基本理念のフレーズを検討する前に、本計画が誰に向けた計画なのか、また基本理念がどの程度周知されるのか整理しておきたい。

○事務局

佐賀市民に向けた計画であり、基本理念は計画の冊子やホームページへの掲載だけでなく、折に触れ市民に伝えていく予定である。

○委員

一般向けでもあるが、市職員にも共有していくものか。

○事務局

職員に対しても共有していく。

○委員

対象が市民ということ共有できていることは、素晴らしいと思う。基本理念はこれまでの流れや第3次総合計画を参酌し、これまでの基本理念の頭に心をつけ、「心豊かな～」とするのはどうか。

○委員

市のための計画だと思うので、佐賀市に視点を絞り、佐賀市らしい言葉を探したほうがいいと思う。

○委員

佐賀市内の人のみが対象ではなく、佐賀市外の人でも佐賀市に来れば文化芸術を楽しめるというイメージが広がってほしい。

○委員

他の県庁所在地の市を調べてほしい。

○委員

伝える相手によって選ぶ言葉が違ってくる。現在の基本理念も素晴らしいものだが、共感を得やすい言葉ではないと思う。また、基本理念を最後に決めてもよいのではないか。

○事務局

基本理念については今後も議論いただきたい。また、他市の事例もさらに調査する。

○委員

基本理念の議論は今後も続けていく。最近「共創社会」という言葉が気になっている。競争するのではなく、ともに未来に進んでいくことが求められる時代に対応していくことが必要だと思う。

【議事3】

第4次計画『第1章「基本理念と目標、計画の概要」』について

○事務局から説明

○委員

まちづくりと地域づくりの仕分けは事業的なものか、政策的なものか。NPOとしては、自分たちが関われる事業が分かりやすいと協力しやすいと思う。また、佐賀らしさを追求し、総合計画を実現する計画の一つとして、一貫性を持ったものにしたい

○委員

「人づくり」「しくみづくり」「地域づくり」「まちづくり」のなかで中心となるもの、市として重視しているものはどれか

○事務局

一番大事なものは人づくりと考えているが、あわせて、まちづくりも重視したい。

○委員

事務局案のまとめとしては、佐賀市の文化を担う人づくりのために、しくみづくり、地域づくり、まちづくりを行っていくというものと感じた。

○事務局

おおむねそのとおりであるが、人づくりとまちづくりは両輪で考えたい。

○委員

人づくりも重要だと思うが、文化芸術を支える人づくりだけでなく、受け手に対する支援も検討してほしい。文化芸術に触れたくても触れられない人、諦めている人も

大勢いる。そのような方々へのサポートはどこに該当すると考えているか。

○事務局

しくみづくりに該当すると考えている。AI や ICT の活用などのサポート体制を構築する必要がある。

○委員

基本目標の整理の仕方はこの4点からでよいと思う。細かいところは、事業方針で掘り下げていけばよいのではないか。

○委員長

基本目標は重複を気にせず、事務局案の4点でよいのではないかと思う。

○委員

「文化振興の担い手」とはどのような人を想定しているのか。

○事務局

第3次計画では特定のターゲットはなく、市民全体に対して文化に興味をもってもらいたいという意味だと解釈している。

○委員

この計画は教育委員会と関係はあるか

○事務局

第5次佐賀市教育振興基本計画が先んじて策定されたが、文化に関する記載がほぼなくなった。しかし、学校教育の中でも文化について取り扱っていただきたいため、教育委員会との連携の仕組みづくりも重要になってくると思う。

○委員

これまでの長い歴史の上に立っているということ子どもたちにも伝えていきたい。

○事務局

メッセージ性の強いものについては、市長の「はじめに」などでも触れていきたいと思う。

○委員長

歴史の部分については、意識付けをしていきたい。

○委員

稽古事から、興味の幅が広がり将来の仕事につながっていくこともある。すぐに結果がでるものではないが、続けていくことが大切だと思う。

○委員長

これから未来をつくっていく、子どもや若者に一つでも多くの体験ができるように環境づくりやきっかけづくりをすることが大人にできることだと思う。自主的に動き出したときに、芽を摘まない、見守れるまちづくりやしくみづくりを目指していきたい。それこそが佐賀らしさの醸成につながると感じる。

○委員

章構成について、事務局案のとおり結論から記載することで、本当に伝えたいことをシンプルに市民に伝えられると思う。

○委員

文化団体との関係は助成だけでなく、協働や共創の関係を築いていけるきっかけにこの計画がなれたらいいと思う。

○事務局

持続可能な関係をつくっていくためには、一方的な支援ではなく協働・共創を考えていく必要があると考えている。

**【議事4】**

座談会の開催について

○事務局から説明

○委員

次代を担う中学生・高校生にも参加してもらったらどうか。これからの進路の参考になると思う。

○事務局

高校生の参加も含め、Bチームは公募も考えたいと思う。

○委員

座談会を計画するのははじめてか。傍聴席も設けるのか。

○事務局

文化振興基本計画でははじめて。傍聴席の設置は検討したい。

(終了)